

平成23年度職員研修

「利用者ニーズを引き出せ！～図書館アンケート・インタビュー徹底分析～」

アンケート結果

(平成24年1月30日実施)

0. はじめに

平成23年度職員研修「利用者ニーズを引き出せ！～図書館アンケート・インタビュー徹底分析～」では、参加者の満足度や本研修の改善点を知るために、参加者全員に対してアンケートを行った。参加者数は45名であり、そのうち35名の回答が得られた。この結果を元に分析・考察を行い、次の機会の参考としたい。(※結果の分析・考察に際して、自由回答欄の誤字脱字と思われる記入もそのまま転記しているが、「□にト」は「図書館」など、表示できない略字等は置き換えている)

1. この研修会に参加されたきっかけは何ですか。(該当するものいくつかでも○)

<分析>

表1 設問1

選択肢	人数	割合
a. 利用者調査というテーマに興味があったから	29人	83%
b. 講師の方に興味があったから	4人	11%
c. Smiley Libraryプロジェクトに興味があったから	1人	3%
d. 上司・同僚・知人からの勧め	19人	54%
e. wikiやtwitterなどの広報で興味をもったから	1人	3%
f. たまたま時間があったから	0人	0%
g. その他	1人	3%

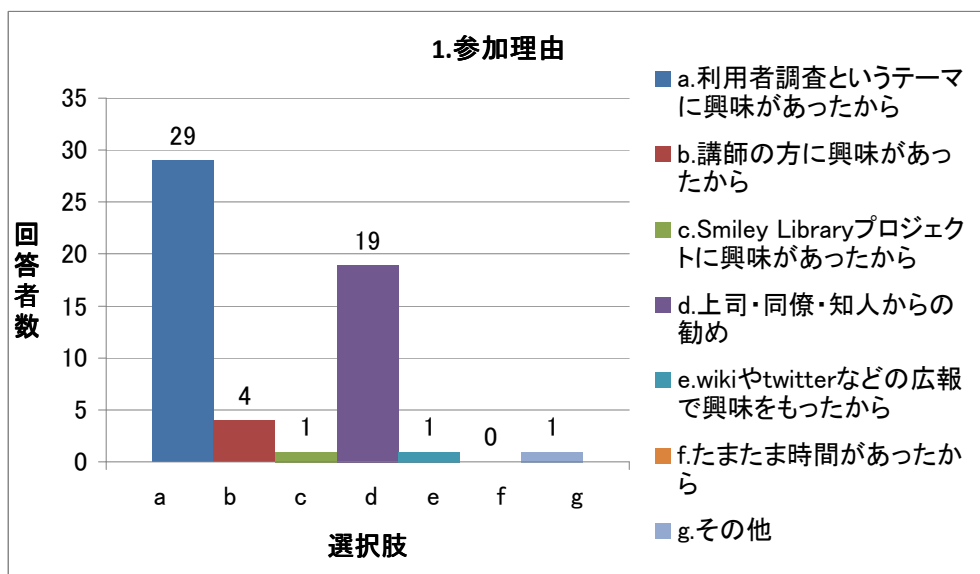


図1 設問1

上記の表 1 と図 1 から約 8 割の参加者が「利用者調査」というテーマそのものに興味を持って参加していることがわかる。次に多いのは「上司・同僚・知人からの勧め」であり、全体の半数以上を占める。Smiley Library プロジェクト（以下 SLP）や wiki や twitter などの広報で興味を持ったという回答はほとんど見られなかった。また、その他の回答としては、「第 1 期 WS スタッフだから行く末が見たかった」という記述があった。

<考察>

利用者調査というテーマについて興味を持ってこの研修に参加した割合が多いということから、職員が研修に参加する場合はそのテーマに興味を持っているかどうかに参加するきっかけに大きく関係していると思われる。

また、半数以上の参加者が上司等から勧められたことをきっかけとしていることから、研修に参加するかどうかはそれぞれの職場からの後押しが必要であるとも言えるだろう。これは、それぞれの職場における人員の数が少ないことや業務量が多いことが関係している可能性がある。

以上から、次にこのような研修を行う場合は、「そのテーマが本当に求められているか調査すること」「希望者が参加しやすいよう、周囲がはたらきかけること」が重要であると考えられる。

2. この研修会の開催を何で知りましたか。(該当するものいくつかでも○)

<分析>

表 2 設問 2

選択肢	人数	割合
a. 開催案内・チラシ	19 人	54%
b. ホームページ	6 人	17%
c. 上司・同僚・知人	13 人	37%
d. メーリングリスト	9 人	26%
e. その他	1 人	3%

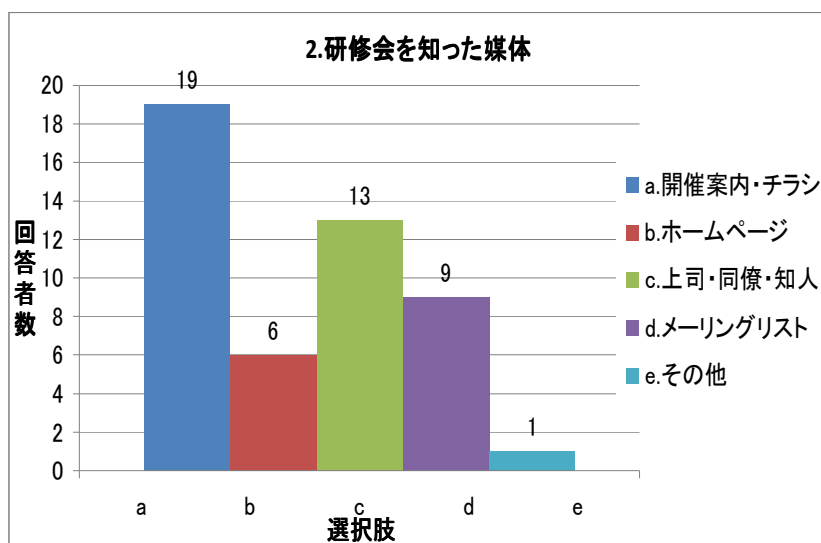


図 2 設問 2

表2と図2から、半数以上が「開催案内・チラシ」でこの研修会の開催を知ったことが分かる。そして3割以上が上司・同僚・知人と答えているが、ホームページやメーリングリストで知った参加者も少なくはない。また、その他の自由記述として「部課長うちあわせ」というのがあった。

だが、この開催案内・チラシはメーリングリストで送っていることから、aとdを回答者がどのように区別していたかは不明である。(aとdを両方選択している回答は1名)さらにこの設問は「何で知ったか」という趣旨であるにも関わらず複数回答が可能であり、aからdまですべてを選択した回答もあった。よって、この設問は「研修会の開催を周知するためにはどの方法がもっとも有効であるか」について検証するにはやや不適切であった。そのため、今回はこの設問についての考察は行わない。何を見てその研修会の開催を知ったのかという点をもっと明確にするべきであったという反省にとどめたい。

3. 研修会の開催時期・時間の長さ・会場・広報の仕方についてはいかがでしたか。

A. 開催時期

<分析>

表 3 設問 3.A.

選択肢	人数	割合
a.良かった	28 人	80%
b.良くなかった	3 人	9%
c.どちらでもない	4 人	11%

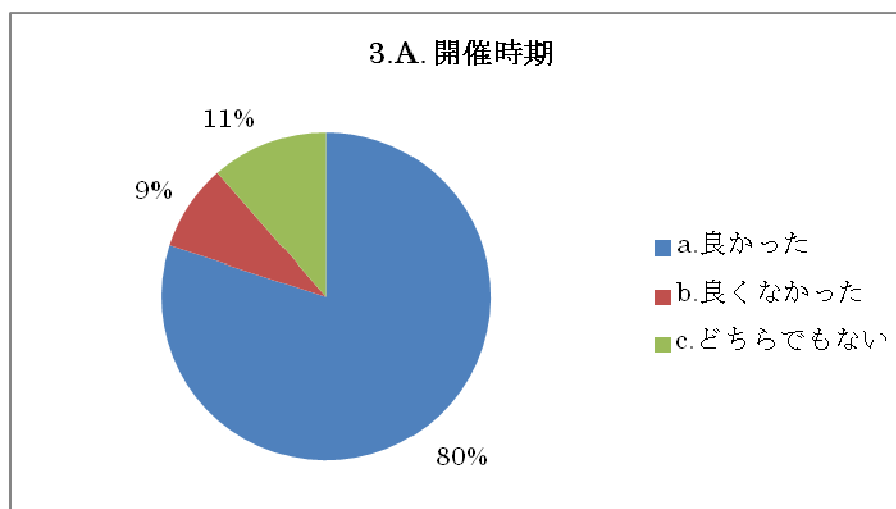


図 3 設問 3.A.

■自由回答欄記述（※aには自由解答欄無し）

b.良くなかった【いつが良いか】

- ・できれば雪のない時期
- ・年内
- ・秋口の方が交通や室内環境の点でよいのでは。

c.どちらでもない【理由】

- ・試験前で忙しい

- ・私立大学では 11 月の後半に入試があるために入試担当になることを懸念して、出席したくてもできない同僚がいました。
- ・寒さの厳しすぎない秋（10 月頃?）でも良いかも
- ・惜しかった。月でなくて金がいい。
- ・できれば 1 月末～2 月初は避けてほしいのですが、準備等の期間を考えると、やむを得ないかと思います。

その他

- ・月末だと参加しやすいです。（a を選択、余白に記述）

「よかった」という回答が 8 割を占め、「良くなかった」「どちらでもない」という回答がそれぞれ 1 割ほどであった。自由記述には季節・気候上の理由からもっと早い時期の開催を望む声が寄せられた。

<考察>

8 割程度の満足度を得られていることから時期については特に問題ないという考え方もできる。しかしあくまでこれは参加できた方からの回答であることを踏まえると、b や c の自由回答は参加できなかった理由を探るための大きな意味を持つと考えられる。特に c における同僚の話は同様の理由で参加を見合わせた方が他にもいることを否定できない。

以上のことから、研修の時期は天候や入試の影響を受けにくい春から秋にかけての時期が望ましいと思われる。しかしそのためには企画の立ち上げから準備にかかった期間を逆算し、スタッフの募集等を開催予定よりかなり早い時期に設定しなければならないだろう。

B. 時間

<分析>

表 4 設問 3.B.

選択肢	人数	割合
a.長い	0 人	0%
b.ちょうどよい	34 人	100%
c.短い	0 人	0%
d.その他	0 人	0%
未回答	1 人	-

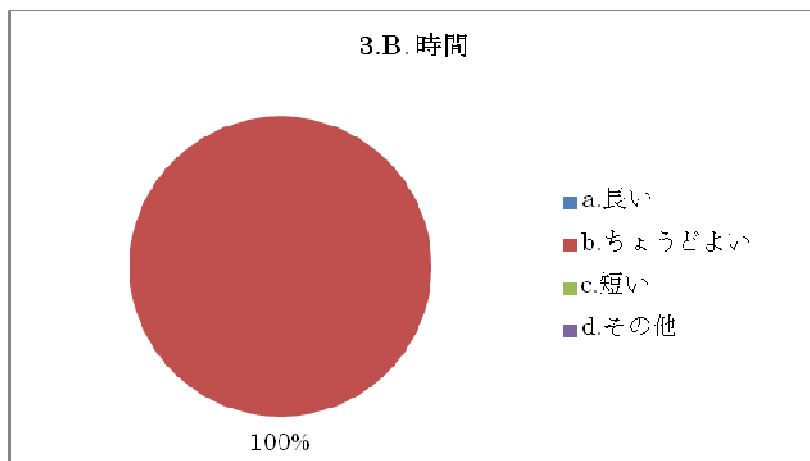


図 4 設問 3.B.

未回答を除くすべての回答者が「ちょうどよい」と答える結果となった。

<考察>

今回は任意参加のランチミーティングを 11 時 30 分から行い、講演自体を 13 時から 17 時までの 4 時間に設定した。遠方から参加する場合の移動時間を考慮してのことだが、自由記述欄を d 以外に添えていなかったため詳細は不明である。しかしこの時間帯の満足度が高いということなら今後もこの時間を基礎として開催時間を決定するのが望ましいと考えられる。だが後述する設問 4 C においては時間不足を求める声もあるため、慎重に判断しなければならないだろう。

C. 会場

<分析>

表 5 設問 3.C.

選択肢	人数	割合
a.良かった	31 人	89%
b.良くなかった	0 人	0%
c.どちらでもない	4 人	11%

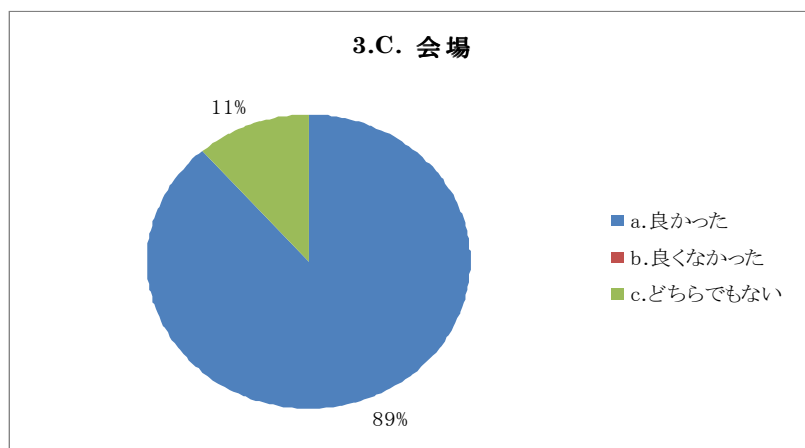


図 5 設問 3.C.

■自由回答欄記述

c.どちらでもない【理由】

- ・トイレの数のみもう少しほしい
- ・狭かった。机と机の間。
- ・3 回とも東北大なので、たまにはどこか別でやるのはどうか？仙台駅北の AER にもいい部屋があります。
- ・会場自体は良いが、たどり着くまでに少し迷った

「良かった」という回答が 9 割近く、「良くなかった」の回答はなかった。自由記述では、人数に対して会場が狭かったこと、東北大学に限らずわかりやすい場所での開催を求める意見があった。

<考察>

概ね満足が得られたが、当初想定していた人数(30～40名程度)よりも多くの参加があったため、机なども余裕を持った配置ができずに会場がやや手狭になってしまった。また、特に女性用トイレの数が少なかったため、並んでいる間に休憩時間が過ぎてしまうような様子も見られた。別のトイレの場所も案内はしたが、スタッフが気づいたときの声かけのみであり、あらかじめ掲示などで示しておく必要があった。

会場については、交通の便からも例年仙台の東北大学での開催となっていたが、遠方の参加者のことを考慮すると、仙台駅近辺での開催も検討すべきだろう。

D. 広報の仕方

<分析>

表 6 設問 3.D.

選択肢	人数	割合
a.十分である	31 人	94%
b.不十分である	0 人	0%
c.どちらでもない	2 人	6%
未回答	2 人	-

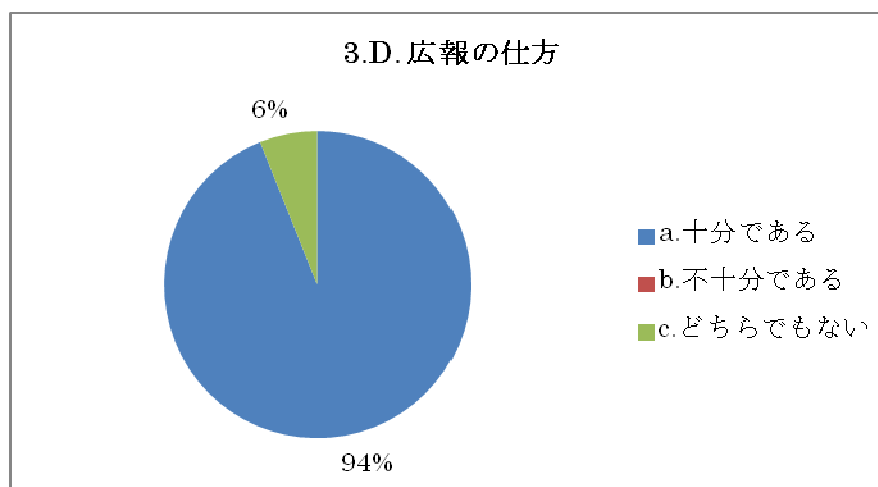


図 6 設問 3.D.

■自由回答欄記述

c.どちらでもない【理由】

- ・（「広報」→周知が十分か十分でないかということでしょうか。広報をメールやチラシで行ったことにでしょうか） 事前に講師の方やお話の方向性がよくわからなかった。思った以上に内容が充実したもので、それが事前にわかっていたら他の人も誘ったのにととても残念。
- ・サイトがあるなら、MLでの告知でも、先頭に入れてもらった方がいいと思います。しかもMLや、WS職員告知より、自分で検索した方が早くサイト見つけてしまったのもあり。。。

こちらも「十分である」の回答が圧倒的に多く、「不十分である」と答えた人はいなかった。しかし「c. どちらでもない」の自由記述では、事前の広報からではよくわからなかったとの意見もあり、必ずしも十分であったとはまとめられない。

<考察>

今回の研修では、wiki への書き込みや写真の募集などの案内を事前に行ったため、参加者が wiki やホームページを目にする機会が多く、広報が十分にされていると感じられたのではないだろうか。設問 1 や 2 の研修に参加した動機、開催を知った情報源についての問いでは、ホームページや wiki、twitter の広報で知ったという回答が少なかったことも考慮に入れる必要がある。また、設問の内容が広報の「媒体」を問うものか「内容」を問うものかわからず困惑したという回答もあったため、設問文の修正も必要と考えられる。

告知では講師や当日の内容が分かりづらかったとの意見もあり、広報の方法だけでなく、表現の仕方など内容についても工夫が必要なことから、次回以降の広報は後述する設問 5 の理由も含め図解やサンプルデータなどのさまざまな方法を用いて更にわかりやすく、そして情報量を増やしていくことが望ましいと考えられる。

4. 研修会のプログラムについて

A. 利用調査の基本

<分析>

表 7 設問 4.A

選択肢	人数	割合
a.非常に有意義だった	18 人	51%
b.有意義だった	14 人	40%
c.普通だった	3 人	9%
d.あまり有意義でなかった	0 人	0%
e.無意義だった	0 人	0%

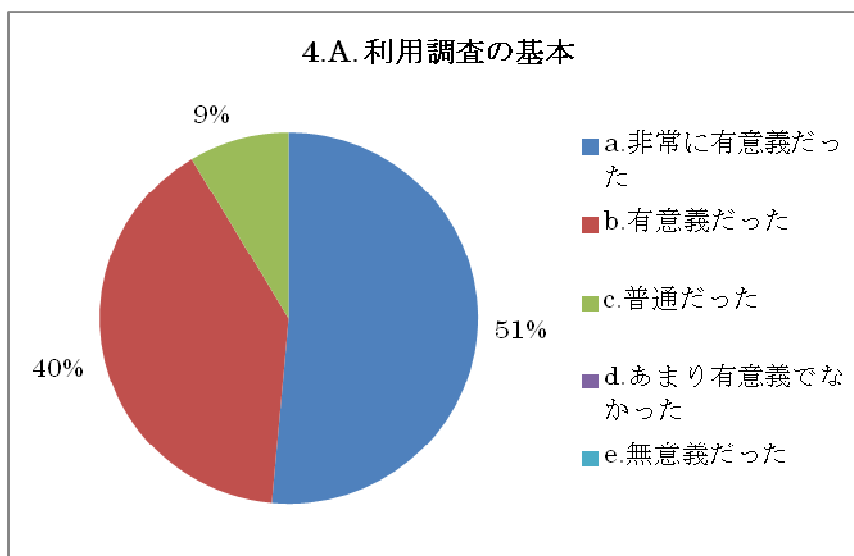


図 7 設問 4.A.

□自由回答欄記述

■調査の基礎

- ・基礎や心構えが確認でき良かったです。
- ・あいまいにしていた基本的な概念の整理が必要と感じました。
- ・アンケート調査の基本になることを学ぶことができた。全体の流れと、行うことをはっきりと決めて、やりっぱなし、中途半端で終わらせないように調査を行うことを学べた。
- ・基礎・基本から丁寧に教えてくださり、為になりました。
- ・調査の仕方ひとつでも、いろいろなやり方があるなど、基本的なことですが十分に認識していなかった点を教えていただき、勉強になりました。
- ・社会調査についての授業を受けている感じでしたが、基本を勉強できたので、これから何か生かせたらいいなと思いました。
- ・調査の概念という基本的なところから学べたので、わかりやすかった。
- ・基本が良くわかり、今後の参考にさせていただきます。わからないまま調査を行わなくてよかったと思います。
- ・基本的なことについて、理解する良い機会でした

■実践に向けて

- ・利用調査の企画について、流れや注意する点を知ることができて良かったです。
- ・内容的に専門的で少し難しいところもあったが、実際に調査を行う上で注意すべき点を具体的に開けて良かった。
- ・利用調査についてほとんど何も知らない状態で参加させてもらいましたので非常に勉強になりました。どんどん実践したいことがたくさんありました。
- ・調査にはある程度確立されたメソッド、留意すべき点があり、それを知らず調査を行うことの無謀さを思い知った。
- ・実際に調査を行うときに、考えるきっかけというか、指針というか、いろいろ思いだして使えることができるといいなと思う。
- ・特に、利用調査の企画の部分において、目的の明確化など、これまであいまいに行っていた調査を見直すポイントを学べたと思う。
- ・自館のとりくみがいかに調査のセオリーからはずれていたか… 講義を聞いていて反省しきりです。
- ・両方について、構成が「概論」と「事例」の2本立てで分かりやすかったです。2人の先生の個性も極立ってよかったと思いました。I（上のつづき）今までアンケートを行ってきて、何となく分かっていることを研修で形にしてもらったような感覚です。今後も、研修に参加していきたい気持ちになりました。[4.A.と4.B.まとめて記入]

■調査をする上で

- ・労力と予算がかけられないなら、調査票調査を実施しないという選択肢もあり、というのに納得しました。回答者を尊重、当然のことですが、忘れがちなので、どのような方法が最適か、今後は考えたいと思います。
- ・調査の基本をおさえられたし、細かい工夫が必要だということがわかって良かったです。こちらの期待する結果(ある程度の回収率)を得るためには、苦労・工夫が必要であるのは当然であるという

ことを痛感しました。調査とは個人対個人のコミュニケーションであるという点も忘れないでおくべきだと思いました。

■その他

- ・図書館については調査をしたことがないとおしゃっけいながら、図書館に即して講演してくださって、大変有意義でした。
- ・とばした部分（回収率の低さ）がおききたかった。→フォローアップできました。よかったです。

「非常に有意義だった」「有意義だった」の回答が大多数を占め、また自由記述では調査の基本を学べたことに対する満足の声が多く寄せられた。調査に対する意識が変わったとの意見も多く、今後に活かしたいとの記述が目立った。

またフォローアップシートと併せて見ると、特に予備調査や回答者へのマナー、労力と予算がかけられないなら調査を実施しないという選択肢もある、などの内容が参考になったと回答する人が多かった。

<考察>

図書館学系ではなくあえて調査に的を絞った講演だったため、戸惑いがあった人もいたようだが、アンケートや調査の概要から一連の流れ、そして回答者への気遣いなど、図書館で実施する際にも重要となるポイントをお話いただき、ためになったと感じた人が多かったようだ。

B. 図書館における利用者調査の事例

<分析>

表 8 設問 4.B.

選択肢	人数	割合
a.非常に有意義だった	30 人	86%
b.有意義だった	5 人	14%
c.普通だった	0 人	0%
d.あまり有意義でなかった	0 人	0%
e.無意義だった	0 人	0%

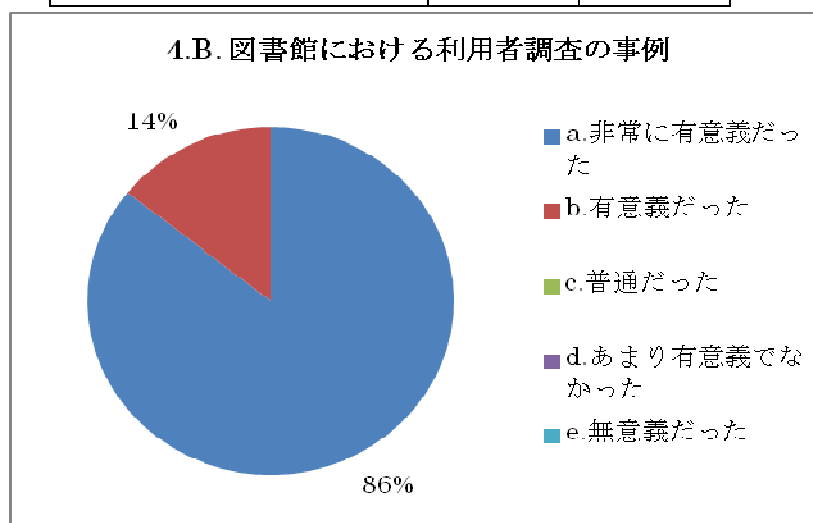


図 8 設問 4.B.

□自由回答欄記述

■慶應義塾大学の事例

- ・学生の意見を具体的に知ることができた
- ・慶応大学では図書館学が修士、博士であるように利用教育や利用調査が積極的でサポートもあると感じた。自館で新しいことを若手がやろうとした時、周りの反応が薄い場合、こういったアクションが必要か…、と悩むことがあります。人的なこともあり、多くの人をまきこむことは、難しい中、1人でも（少数）の人員で、できることを考えていきたいです。
- ・慶応大学の先進的な利用者調査の取り組みをうかがえて大変刺激を受けました。アンケートの結果を活用して自分なりにアイデアを出したいと思いました。
- ・実際の調査や現場の様子を知る事ができて大変興味深かったです。
- ・理工学部事例が本当に参考になりました。（薬学部図書館なので、すごく共感できました）

■調査への意識

- ・ニーズ調査の結果をちゃんとサービス改善に活かしている点が素晴らしいと思いました。
- ・調査する側がいやいや調査したら尚更される側も嫌だと思うのでまさしく心躍らせて企画していきたいと思いました。
- ・実際に調査とそれに基づく改善を行った活き活きとした体験と拝聴し、今後の仕事に活かしたいと思った。
- ・普段の観察力の重要性を感じました。
- ・実際の事例を聞いていて、利用者調査がとても楽しいものだと感じました。
- ・とても具体的で分かり易かった。利用者調査は、若干だったが、見方が変わった。
- ・具体的な事例を知ることができ、「自分も図書館をよくしたい」というモチベーションが上がりました。
- ・どのようにニーズを把握して、実現していったかがよくわかりました。図書館がからんでいけるところから強化していったり、日々の観察からもニーズを拾うなど参考になりました。調査や観察などが、「こういうことをしたい！」と言ったときに根拠となるという事も重要なことだと思いました。

■講師

- ・上岡さんの向上心がすばらしいと思いました。
- ・非常にモチベーションのあがる楽しいプレゼンで、プレゼンの仕方という意味でも大変ためになった。さっそくマネさせてもらおうと思うところもあります。
- ・実際に行ったことをわかりやすくユーモアを混じえていただいたのでよかった。
- ・非常に具体的でわかりやすくおもしろかったです
- ・素晴らしい取り組み、上岡さんの意識の高さ、これならもしかしたら自分たちもできるかもという事例の数々、巧みな話術、引き込まれるお話でした。
- ・複数の方法で、ユーザの動向、要望把握に努め、粘り強く、改善されたのが素晴らしいです。高校生との関わりも参考になりました。
- ・話が非常におもしろかったです。調査から、実際にどう変えていったとか、とても興味深く聞きました。

した。

- ・調査の取組状況を写真もふんだんに使って分かりやすく説明してくださり、利用者ニーズのキャッチの方法の事例を学ばせていただきました。
- ・興味深い内容で、話にとってもひきこまれました。調査から、その活用まで分かりやすくお話いただき、参考にしたいと思いました。

■その他

- ・高等学校図書室の利用調査の事例のお話だと思って楽しみにしていたんです。次の機会に高等学校のお話を伺えるのを楽しみにしております。
- ・回答率 17%で非常に高いという点、海外でどれくらいの回答率であるのかが気になったが、17%程度で利用者の意見を反映していると言えるのか気になった。
- ・日頃、こういったことを聞くことが、なかなか無いため、良かったです
- ・両方について、構成が「概論」と「事例」の 2 本立てで分かりやすかったです。2 人の先生の個性も極立ってよかったと思いました。I（上のつづき）今までアンケートを行ってきて、何となく分かっていることを研修で形にしてもらったような感覚です。今後も、研修に参加していきたい気持ちになりました。[4.A.と 4.B.まとめて記入]
- ・ありがとうございました。

未回答者もなく、回答者全員が「非常に有意義だった」もしくは「有意義だった」と回答しており、自由記述でも講義内容に対する満足の声や、実践してみたいという声が多く出された。また講師の先生へのコメントが多く見られたのも特徴である。

記述からは「観察」の言葉も多く見られ、多くの人が興味を持ったことがわかる。

<考察>

未回答者が出なかったこと、c～e の回答者がいなかったことから、この講演への関心が高く、尚かつ満足してもらえたことがわかる。図書館での実際の事例ということで、おそらく参加者からの事前の関心も高かったプログラムであったと思われるが、回答にも多くあるように講師の人柄による部分も大きかった。また観察から隠れたニーズや改善が必要なポイントを見つけるなど、日頃から実践できるようなことを実践例を交えてお話いただいたことで、参加者のモチベーションも引き出されたようである。

C. フォローアップセッションについて

<分析>

表 9 設問 4.C.

選択肢	人数	割合
a.非常に有意義だった	9 人	28%
b.有意義だった	16 人	50%
c.普通だった	7 人	22%
d.あまり有意義でなかった	1 人	3%
e.無意味だった	0 人	0%
未回答	3 人	-

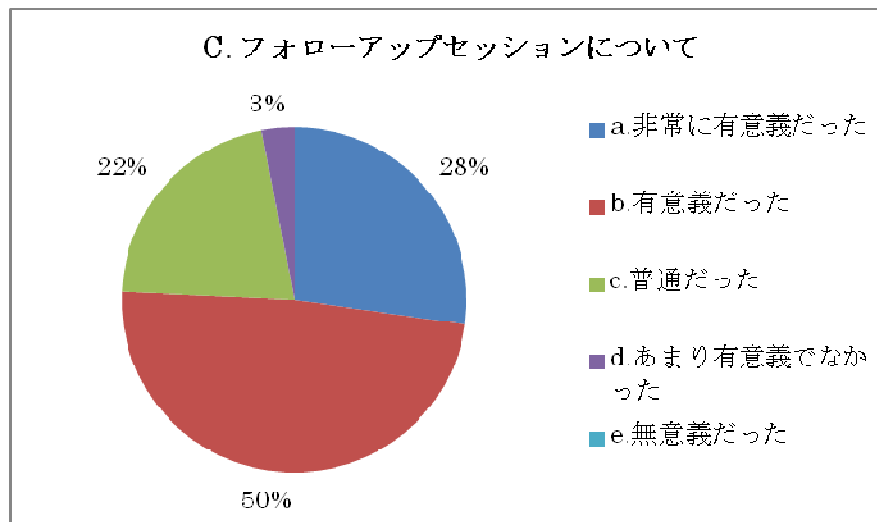


図9 設問4.C.

□自由回答欄記述

■フォローアップセッション

- ・木村先生の講演はフォローアップ部分がよかった。
- ・アンケートの後ですること、についてのアドバイスが的確でした
- ・こういう形で事前の質問を受け、時間を設けて答えを出すのはいいと思いました。
- ・利用調査に関する疑問を共有、解決することができました。

■信州大学の事例

- ・特に信州大学の方が実際に行ったアンケートを基にされた質問は、実際に他館が行っているアンケート調査を拝見でき、参考になりました。
- ・信州大学さんの事例や講師の方からの実践例を聞く事ができて良かった。
- ・信州大さんの調査への講評が実践的で有意義でした。
- ・アンケートの講評が良かったです。

■時間の不足

- ・補論は良かったが、信大さんの話まで出てきて、時間の割にはお腹いっぱいだった。フォローアップシート書いている間に信大さんの話が終わってしまった。(涙)
- ・時間がもっと欲しかった。
- ・時間があまりなかったので、もう少し深められればよかったと思います。
- ・ちょっと時間が短く感じたかもしれません
- ・時間の不足が惜しまれますが、信州大以外の事例もあると良かったです。
- ・時間が足りなかったのが残念。

■回収率アップ

- ・回収率アップのヒントが探れてよかった。
- ・回収率の低さについて伺えたのでとても良かった。
- ・回収率を上げる具体的な手法が聞けて良かったです。

「非常に有意義だった」「有意義だった」との回答が多かったが、他の設問と比べると回答にばらつきが

見られた。自由記述では時間不足と述べる人が多い一方で、事前に多くの質問が寄せられた回収率アップのヒントについての解説に対しては、良かったとのコメントも出された。

＜考察＞

時間不足に関する自由記述が多かったことから、予定よりも時間が押してしまったことが、満足度が低くなってしまった原因の一つだと思われる。フォローアップシートへの記入時間が短くなったことについては書ききれなかった人は後日直接 **wiki** へ書き込んで欲しいという案内をしたが、実際にどれくらいの方が書き込んでくれたかは不明である。プログラムが延びてしまった場合でも、何らかの形でフォローできるように予めよく検討しておくべきであった。回収率アップのためのヒントや、信州大学で実際に行ったアンケート調査に対する講評などは、疑問・質問の共有ができたという点で好評を得られた。時間がなかったこともあったが、他の参加者からも自由に質問を出してもらえればさらに活発な議論ができたと思われる。

EX：クロス集計

利用者調査というテーマに興味を持っていた参加者が今回の研修にどのくらい満足したかを知るために、設問 4 の講演等の満足度を、設問 1 の回答別に集計した。

＜分析＞

縦軸：設問 1：「この研修会に参加されたきっかけは何ですか」（複数回答可）

横軸：設問 4：「研修会のプログラムについて」

設問 1	設問 4
a. 利用者調査というテーマに興味があったから	a. 非常に有意義だった
b. 講師の方に興味があったから	b. 有意義だった
c. Smiley Library プロジェクトに興味があったから	c. 普通だった
d. 上司・同僚・知人からの勧め	d. あまり有意義ではなかった
e. wiki や twitter などの広報で興味をもったから	e. 無意義だった
f. たまたま時間があったから	
g. その他	

A. 利用調査の基本

表 10 設問 4.A.

		←有意義 無意義→				
参 加 理 由		a	b	c	d	e
	a	15	12	2	0	0
	b	1	3	0	0	0
	c	0	0	1	0	0
	d	10	9	0	0	0
	e	0	0	1	0	0
	f	0	0	0	0	0
	g	0	0	1	0	0

B. 図書館における利用者調査

表 11 設問 4.B.

		←有意義 無意義→				
参加理由		a	b	c	d	e
	a	25	4	0	0	0
	b	4	0	0	0	0
	c	0	1	0	0	0
	d	15	4	0	0	0
	e	1	0	0	0	0
	f	0	0	0	0	0
	g	1	0	0	0	0

C. フォローアップセッションについて

表 12 設問 4.C.

		←有意義 無意義→				
参加理由		a	b	c	d	e
	a	8	13	6	0	0
	b	0	3	1	0	0
	c	0	0	1	0	0
	d	6	8	2	1	0
	e	0	0	1	0	0
	f	0	0	0	0	0
	g	1	0	1	0	0

設問 1 で a を回答した参加者は、おおむね「a.非常に有意義だった」「b.有意義だった」を選択していることがわかる。また設問 1 で a 以外を回答した参加者も、講演への満足度は高くなっている。しかしフォローアップセッションへの満足度はあまり高くなく、コメントでは「時間がなかった」との記述が見られた。

<考察>

研修会のテーマについて興味を持って参加した人だけでなく、それ以外の動機で参加した人にとっても講演は満足のいくものだったと言える。またどの区分の参加者も同様に満足度が低かったフォローアップセッションも、自由記述では回収率アップのヒントなど、疑問・質問の共有ができたという点では好評を得られていることから、やはり時間がなかったことが大きな理由となっていると考えられる。

5. Smiley Library プロジェクトについて、ご意見・ご感想などがございましたらご記入ください。

<分析>

今回は通常の研修とともに SLP という、図書館間の交流を深め東北の絆や震災からの復興をアピールするための企画を行った。その満足度を計り、今後の SLP の展開を考えるためにこの設問の自由回答を分析する。(※自由回答のすべての記述については別紙に記載)

■交流に関するもの

- ・意気込みを感じました。近付きがたい雰囲気打破するきっかけになると思います。
- ・他大学の方と交流することが少ないので、よいと思う
- ・図書館員の交流が深まる良いプロジェクトだと思いました。
- ・笑顔の輪がどんどん広がっていくといいですね^_^
- ・復旧作業と日常業務で疲労気味なので、明るいパワーをわけてもらえるような気がします。「つながる」感が出ていいんじゃないでしょうか。

■ロゴ・グッズ・ポスターなどに関するもの

- ・ポスター作成は、良い企画だと思います。ぜひ素敵なポスターを作ってください。
- ・可愛いロゴを使ったグッズがいろいろあって素晴らしいと思いました。ポスター制作もとても良いと思います。
- ・ロゴがステキです。
- ・メールで Smiley Library の案内がありましたが、なんとなくしか、わからなかったのですが、A3 版のランチ(マット)を見て、ちゃんとわかった感じがします。
- ・プロジェクトの企画と、グッズ作成等の意気込みはすごい！と思いました。写真を撮ることについて正直なところ抵抗がありました。(少しですが。)ポスターの構成を先にお知らせしていただけると、そんなにどでかい写真が載るわけではないことがわかって安心できたかも知れません。

■その他

- ・東北の図書館員は元気だ！！というアピールになってとても良いと思います。
- ・スタッフさんの気遣いがとても細やかで丁寧でした。
- ・企画は面白い。集合写真(スタッフ)は良かったです。だが、本編の「利用者ニーズを引き出せ！」と関連が結局わからなかった。「利用者ニーズを引き出して、笑顔を増やす」などのこじつけでもあれば良かった。

図書館(員)同士の交流を図るという主旨に対しては概ね賛同、好評を得た。ロゴやグッズ等にも好意的な感想が寄せられたが、事前の広報ではわかりづらかったという意見も寄せられた。

<考察>

図書館(員)同士の交流を図るという主旨に対しては概ね賛同、好評をいただいた。他の図書館との交流を深めることは、相互貸借協力だけでなく各館の問題点の共有や改善案の提示、互いの知識や経験の共有など、業務を改善し人材を育成するために大きな刺激となると思われるので、これからも積極的に展開していきたい。

ロゴやグッズなど、形として目を引くものがあつたのも効果的だったようだ。8.の自由記述の中にも、

事前の開催要項などの案内では詳細がわからず、当日会場に行ってようやく把握できたというような意見や、研修会との位置づけが不明確との意見もあった。またポスターについては、初めは抵抗を感じた人もいたとのことで、事前の案内についてもチラシや web でもっと情報量を増やし、参加者に事前に周知できるように努めるべきだったと思われる。

上記の反省と視覚的なものが効果的だったことを踏まえ、このような企画を行う場合は図解での説明やグッズ（今回の場合はポスター）のサンプルデータをなど、事前にできる限りの情報をわかりやすくアピールしていくことが必要だと言えるだろう。

6. 今回の研修では意見交換・事前事後交流を目的として wiki や twitter を活用しています。このことについて、ご意見・ご感想などがございましたらご記入ください。

＜分析＞

wiki や twitter などの web 上のツールは現在急速に広まっている。交流や情報の共有にどの程度役に立つか、そして参加者はそれらのツールをどのくらい利用したのかを調べ、今後の展開を考えるための参考にしたい（※自由回答のすべての記述については別紙に記載）

■肯定的な意見

- ・ twitter を個人でも図書館としても利用していないので、ためらいがありました。今回のことで逆に、今後図書館で利用を始められないかと考えました。利用例など紹介していただきたいです。
- ・ 先日初めて wiki に書き込みしたのですが、twitter はまだやったことがありません。話を聞くと、私のようにまだ使ったことがないという人が多かったので、こういう企画を通して広めていただけると、こちらも勉強になります。
- ・ twitter などあまり使ったことがなかったので使ってみようという気持ちになり、良い機会でした。
- ・ twitter 全くわからないが、この機会におぼえようと思った。
- ・ 時間がなくて、とは言いつつですが、でも時間があるときにやりたいと思う感じのツールだなあと感じました。
- ・ 文字のみのやりとりだと、とげとげしくなってしまう事もあるが、実際に顔を合わせた相手との事前・事後交流手段としては良いと思います。自分はツイッターをやらないので、wiki の閲覧のみになりそうですが。
- ・ 気軽に交流できるので、良かったと思います。情報の共有ができることで、他大学の方との距離が身近になった感じです。
- ・ 利用者との交流のためにも、図書館員が新しいコミュニケーションツールに取り組んでいくのはいいことだと思います。
- ・ お固いイメージの図書館が、変化する利用者に社会に合わせていくことはとても有意義だと思います。
- ・ 有意義な取り組みと思いますが、個人的に活用できておらず申し訳なく思っております。
- ・ 自己紹介のページで、知り合いの名前を見つけてうれしく感じました。研修に参加するのも、さらに楽しみに思いました。
- ・ 初心者には敷居が高いので、マニュアルをつけてもらえて助かりました。

■否定的な意見

- ・ twitter の発信が未経験で詳しくはないのですが、書き込める文字数に制限があると聴きました。私見ですが、文字数制限なく、使い慣れている E-mail や FAX の方が質問しやすいのではないかと思います。
- ・ twitter の利用に今だ抵抗を感じる。自分でも遅れていると思うが。
- ・ wiki、twitter どちらも利用していないため、書き込みづらかった。
- ・ ハードルが高いと感じました。
- ・ twitter は個人的にしか利用していないので、個人的なつぶやきも共有されかねないことが不安。

<考察>

賛否両論ながら、自由記述のみの項目の中では最も回答が多かった。参加者の関心も高かったと言えるだろう。

wiki の自己紹介とも併せると、参加者の中で twitter のアカウントを取っているという人は少なく、これまで接する機会があまりなかった人が多い。しかし新しいコミュニケーションツール、情報発信の手段としての関心は高く、取り入れていくことに対しては前向きな反応が多く見られた。しかし一方で「ハードルが高い」「抵抗がある」といった意見もあり、また好意的な意見でも「自分ではやらないと思う」などどこか一線を引いたコメントも見られた。

これからも、研修や SLP において wiki や twitter を活用していきたいと考えている。確かにメール等でも交流を深めることができるが、情報の共有、即時性、そしてゆるやかな交流を続けていくにはこれらは有効なツールだと思われる。敷居の高さや抵抗感を排除するための工夫を行うとともに、それ以外にも有用なツールを探していく必要があるだろう。

7. 次回の研修会の要望・とりあげて欲しいテーマなどがございましたらご記入ください。

<分析>

今回はこの研修企画の第3期にあたる。第4期以降の開催は未定だが、設問1からもわかるように研修のテーマは参加者を集めるために大変重要な役割を果たすため、この自由回答を分析し、次回に活かしたいと思う。

- ・ ラーニングコモンズなど利用者獲得のために各館が行っている取りくみについて。
- ・ 「twitter を大いに利用する図書館！」等、学生との交流や図書館同士のコミュニケーションツールとして、どのような使い方ができるか、実行例、成功例、失敗例を知りたいです。
- ・ 具体的なテーマは内緒だが、図書館員だけで研修するのではなく、学生、教員、一般市民、県職員等と協働でなにか研修してみてもはどうだろうか？
- ・ すみません思いつきません。
- ・ 利用者教育の実践例（大学1年生向け）
- ・ ICT 研修
- ・ プレゼンや講師(講習会)のノウハウ
- ・ 今回のフォロー。利用者調査の結果をもっと見たい、とか。何年か先に。
- ・ 学生の聞きたいようなテーマとか、どうでしょうか？（具体的には思い浮かびませんが...）

<考察>

ラーニングコモンズや利用者教育など、図書館関係の研修でよく挙げられるテーマだけでなく、大学内外の組織・機関とも関わりある内容もいくつか挙がっていた。

図書館員がスタッフとなってワークショップの企画を立ち上げると、やはり大学図書館の実務に関する内容に寄ってしまいがちだが、そうした枠にとらわれない応用の利く内容が求められているようである。また、他の自由回答に比べてこの設問の回答数が少なかったことから、他の機会に改めてこういったアンケートをとることも検討すべきだと思われる。

8. その他、お気づきのことやご意見・ご感想などがございましたら、自由にご記入ください。

<分析>

■スタッフへの労い

- ・全体的に、すごく練られたことを感じる研修でした。次回も参加したいです。司会の上村さん、すごく上手ですね！見習いたいです。（おつかれさまでした。）
- ・スタッフのみなさん、おつかれさまでした！
- ・スタッフの皆さま大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・スタッフの皆さま、お疲れさまでした。
- ・企画運営お疲れ様でした！
- ・参加させていただきありがとうございました。スタッフのみなさまありがとうございました。
- ・大変参考になりました。どうもありがとうございました。
- ・ありがとうございました。
- ・丁寧な研修の運営に好感をもちました。本日はありがとうございました。

■会場

- ・会場の温度にすぐ対応していただいて助かりました。チロルチョコのアイディアはすてきでした。ありがとうございました。
- ・やや寒かったと思いました。どうもありがとうございました。
- ・会場が少し寒かったです。

■SLP 関連

- ・スタッフの皆さんは細かい物まで手作りされていて、意気込みを感じました。本当にご苦労様でした。ポスター楽しみにしています。
- ・参加者同士の交流を深めるための配慮(ランチ・休憩時間活用)がよかった。
- ・ランチミーティングでも他大学図書館の方と交流できる良い機会でした。
- ・研修会と Smiley L プロジェクトが同時進行なのが混乱した。イコールなのか、希望者のみなのかわかりづらかった。
- ・アンケート・フォローアップシートの記入時間、名刺交換の時間がもう少し余裕が欲しかったです。ランチミーティングの同席者とは話しができたが、それ以外の方とはあまり話しができなかった。

■その他

- ・第一期、第二期も、その後それっきりなので、第三期の皆さんは定期的に何かを続けて行って下さい！

<考察>

会場が寒かったという点については当日のスタッフも感じており、調整を行ったが十分ではなかったようだ。今回のように冬季、もしくは夏季に開催する場合は特に気をつけるべきだと思われる。

全体を通して、SLP については継続性を求める意見が出ており、今後の活動にも関心が寄せられていることがわかる。しかし設問 5 と合わせると、研修会の中で並行して行ったことについて混乱した、わかりづらかったなどの意見も出ており、事前の広報だけでなく、当日参加者に対しての案内も個人レベルで細やかに行う必要があるだろう。

<全体の考察>

研修のテーマである「利用者調査」に興味を持ったことが、参加者の大きな動機となっていたが、同時開催の SLP については事前の周知・理解があまり行き届いていなかったようだ。しかし実際に当日会場でグッズやポスターを見てもらえたことで、参加者の理解を得られたように思う。自由記述などからも、図書館同士の継続的な交流の場を求めていることがわかり、当日の名刺交換での出会いや今後の wiki や twitter を通した交流に期待が寄せられている。

調査について基礎と実践例の 2 本構成だったが、時間配分を含めそのことについての否定的な意見は特になく、密度の濃い内容ながら利用者調査に興味を持っていた参加者にもそうでない参加者にも概ね満足をいただけたと言える。しかしフォローアップセッションは時間が押してしまったこともあり、シートの記入にもう少し時間が欲しかったという意見が多く見られた。しかし事前に多くの方から質問が寄せられていた、回収率アップのヒントなどについての解説が聞けたという点では好評を得たので、今後も事前に質問を募集することとしたい。

今回広報として取り入れた wiki や twitter などの新しいツールについては、これまで利用したという人はほとんどいなかったため、参加者の中には最初とまどいもあったようだったが、これを機に始めてみたいという意見も見られた。しかしその一方で、新しいコミュニケーションツールとしての有用性は感じつつも、自分が始めることについては消極的、否定的な意見も出ている。だが参加者の中では比較的関心の高いトピックの一つでもあったので、今後も工夫を凝らしながらこうした情報発信の手段として利用していくことが考えられる。

<今後の課題>

開催時期については、第 1 期（2 月開催）においても第 2 期（12 月開催）においても事後のアンケートを行っている。どちらにおいても今回と同様の回答が目立っていたが、第 2 期では、「よかった」の評価が 85%とやや高かった。一概に比較できないものの、総合的には研修は早めに行った方がよいと思われる。

開催時期については、企画スタッフの招集時期に影響されてしまうということもあるが、日程は参加者だけでなく講師への依頼にも影響するため、企画全体のスケジュールを今期よりも早く行う必要がある。今期が 9 月から開始して 1 月に開催したことを踏まえると、10~11 月に行うためには 6 月にはスタッフが決定していなければならないだろう。また、テーマや講師への依頼、大学外の施設を会場とすることも踏まえると、もっと早く打ち合わせを開始することも視野に入れなければならないと思われる。しかし会場については、会場を東北大以外にするという案は、第 1 期から毎回出されていた。しかし予算の問題や慣

れな場所で会場を上手くセッティングできるかわからないという点で却下されていた。今回の会場は設営のし易さなどを鑑みても適切であると考えられるが、設問3Cの考察から、東北大学以外の大学や大学内の他の施設、外部の会議室等を利用することについては次回以降も検討するべきだと思われる。

プログラムについては、基礎的な内容・実践的な内容・フォローアップセッションすべてに満足度が高かったが、時間不足であったことは否めない。時間配分についてはよく検討する必要があるが、場合によっては、満足度が最も高かった実践的な内容を中心にすえて基礎的な部分やフォローアップセッションは縮小することも考慮しなければならない。その際は wiki などの web 上のツールを活用して研修当日以外でも学べるようにするなどの工夫を今回以上にする必要があるだろう。

事前の告知では、講師や当日の内容、SLP について分かりづらかったとの意見も出された。特に SLP は、これまでの研修会でもあまり見られなかった企画であったため、イメージが掴みにくかったところもあったのだろう。それも踏まえた上で、広報のやり方にも改善の余地があると思われる。

また、SLP については今回つなげた絆を今後も継続していきたいと考えている。そのためにはまず、スタッフそれぞれがこの年度にとどまらず継続的に交流を行っていくべきである。そして、物理的に離れている参加者（職員）同士がつながりを持てるように、wiki 上で現在行っている企画や twitter を中心に、新たな仕掛けをしていきたい。

■設問 4 A

- ・基礎や心構えが確認でき良かったです。
- ・とばした部分（回収率の低さ）がおききしたかった。→フォローアップできました。良かったです。
- ・あいまいにしていた基本的な概念の整理が必要と感じました。
- ・ありがとうございました。
- ・アンケート調査の基本になることを学ぶことができた。全体の流れと、行うことをはっきりと決めて、やりっぱなし、中途半端で終わらせないように調査を行うことを学べた。
- ・両方について、構成が「概論」と「事例」の2本立てで分かりやすかったです。2人の先生の個性も極立ってよかったと思いました。/（上のつづき）今までアンケートを行ってきて、何となく分かっていることを研修で形にしてもらったような感覚です。今後も、研修に参加していきたい気持ちになりました。[4.A.と4.B.まとめて記入]
- ・基礎・基本から丁寧に教えてくださり、為になりました。
- ・知らなかったことをたくさん教えていただきました。
- ・すみません。寝てしまいました。
- ・利用調査についてほとんど何も知らない状態で参加させてもらいましたので非常に勉強になりました。どんどん実践したいことがたくさんありました。
- ・内容的に専門的で少し難しいところもあったが、実際に調査を行う上で注意すべき点を具体的に聞けて良かった。
- ・調査の仕方ひとつでも、いろいろなやり方があるなど、基本的なことですが十分に認識していなかった点を教えていただき、勉強になりました。
- ・調査にはある程度確立されたメソッド、留意すべき点があり、それを知らず調査を行うことの無謀さを思い知った。
- ・実際に調査を行うときに、考えるきっかけというか、指針というか、いろいろ思いだして使えることができるといいなと思う。
- ・基本が良くわかり、今後の参考にさせていただきます。わからないまま調査を行わなくてよかったと思います。
- ・自館のとりくみがいかに調査のセオリーからはずれていたか… 講義を聞いていて反省しきりです。
- ・特に、利用調査の企画の部分において、目的の明確化など、これまであいまいに行っていた調査を見直すポイントを学べたと思う。
- ・基本的なことについて、理解する良い機会でした
- ・利用調査の企画について、流れや注意する点を知ることができて良かったです。
- ・先生がとても分かりやすくお話し下さったので、良かった。
- ・労力と予算がかけられないなら、調査票調査を実施しないという選択肢もあり、というのに納得しました。回答者を尊重、当然のことですが、忘れがちなので、どのような方法が最適か、今後は考えたいと思います。
- ・社会調査についての授業を受けている感じでしたが、基本を勉強できたので、これから何か生かせたらいいなと思いました。
- ・調査の概念という基本的なところから学べたので、わかりやすかった。
- ・調査の基本をおさえられたし、細かい工夫が必要だということがわかって良かったです。こちらの期待する結果(ある程度の回収率)を得るためには、苦労・工夫が必要であるのは当然であるということを痛感しました。調査とは個人対個人のコミュニケーションであるという点も忘れないでおくべきだと思いました。
- ・図書館については調査をしたことがないとおしゃっていながら、図書館に即して講演して下さって、大変有意義でした。

■設問 4 B

- ・非常に具体的でわかりやすくおもしろかったです
- ・高等学校図書室の利用調査の事例のお話だと思って楽しみにしていたんです。次の機会に高等学校のお話を伺えるのを楽しみ

にしております。

- ・学生の意見を具体的に知ることができた
- ・普段の観察力の重要性を感じました。
- ・ありがとうございました。
- ・慶応大学では図書館学が修士、博士であるように利用教育や利用調査が積極的でサポーターもあると…と感じた。自館で新しいことを若手がやろうとした時、周りの反応が薄い場合、どういったアクションが必要か…、と悩むことがあります。人的なこともあり、多くの人をまきこむことは、難しい中、1人でも（少数）の人員で、できることを考えていきたいです。
- ・両方について、構成が「概論」と「事例」の2本立てで分かりやすかったです。2人の先生の個性も極立ってよかったと思いました。/（上のつづき）今までアンケートを行ってきて、何となく分かっていることを研修で形にしてもらったような感覚です。今後も、研修に参加していきたい気持ちになりました。[4.A.と4.B.まとめて記入]
- ・調査の取組状況を写真もふんだんに使って分かりやすく説明してくださり、利用者ニーズのキャッチの方法の事例を学ばせていただきました。
- ・素晴らしい取り組み、上岡さんの意識の高さ、これならもしかしたら自分たちもできるかもという事例の数々、巧みな話術、引き込まれるお話でした。
- ・とても具体的に分かり易かった。利用者調査は、若干だったが、見方が変わった。
- ・慶応大学の先進的な利用者調査の取り組みをうかがえて大変刺激を受けました。アンケートの結果を活用して自分なりにアイデアを出したいと思いました。
- ・実際の調査や現場の様子を知る事ができて大変興味深かったです。
- ・調査する側がいやいや調査したら尚更される側も嫌だと思うのでまさしく心躍らせて企画していきたいと思いました。
- ・興味深い内容で、話にとってもひきこまれました。調査から、その活用まで分かりやすくお話いただき、参考にしたいと思いました。
- ・実際に調査とそれに基づく改善を行った活き活きとした体験と拝聴し、今後の仕事に活かしたいと思った。
- ・非常にモチベーションのあがる楽しいプレゼンで、プレゼンの仕方という意味でも大変ためになった。さっそくマネさせてもらおうと思うところもあります。
- ・理工学部の事例が本当に参考になりました。（薬学部図書館なので、すごく共感できました）
- ・ニーズ調査の結果をちゃんとサービス改善に活かしている点が素晴らしいと思いました。
- ・回答率17%で非常に高いという点、海外でどれくらいの回答率であるのかが気になったが、17%程度で利用者の意見を反映していると言えるのか気になった。
- ・日頃、こういったことを聞くことが、なかなか無いため、良かったです
- ・実際の事例を聞いていて、利用者調査がとても楽しいものだと感じました。
- ・実際に行ったことをわかりやすくユーモアを混ぜていただいたので良かった。
- ・複数の方法で、ユーザの動向、要望把握に努め、粘り強く、改善されたのが素晴らしいです。高校生との関わりも参考になりました。
- ・話が非常におもしろかったです。調査から、実際にどう変えていったとか、とても興味深く聞きました。
- ・具体的な事例を知ることができ、「自分も図書館をよくしたい」というモチベーションが上がりました。
- ・是非参考にさせていただきたいと思います。
- ・どのようにニーズを把握して、実現していったかがよくわかりました。図書館がからんでいけるところから強化していったり、日々の観察からもニーズを拾うなど参考になりました。調査や観察などが、「こういうことをしたい!」と言ったときに根拠となるという事も重要なことだと思いました。

- ・上岡さんの向上心がすばらしいと思いました。

■設問 4 C

- ・木村先生の講演はフォローアップ部分がよかった。
- ・アンケートの後ですること、についてのアドバイスが的確でした
- ・こういう形で事前の質問を受け、時間を設けて答えを出すのはいいと思いました。
- ・参考になる内容でした。
- ・利用調査に関する疑問を共有、解決することができました。
- ・特に信州大学の方が実際に行ったアンケートを基にされた質問は、実際に他館が行っているアンケート調査を拝見でき、参考になりました。
- ・信州大学さんの事例や講師の方からの実践例を聞く事ができて良かった。
- ・信州大さんの調査への講評が実践的で有意義でした。
- ・講評していただきありがとうございました。
- ・補論は良かったが、信大さんの話まで出てきて、時間の割にはお腹いっぱいだった。フォローアップシート書いている間に信大さんの話が終わってしまった。(涙)
- ・時間がもっと欲しかった。
- ・時間があまりなかったのもう少し深められればよかったと思います。
- ・ちょっと時間が短く感じたかもしれません
- ・時間の不足が惜しまれますが、信州大以外の事例もあると良かったです。
- ・アンケートの講評が良かったです。
- ・もう少し時間があってもよかった。
- ・時間が足りなかったのが残念。
- ・回収率アップのヒントが探れてよかった。
- ・回収率の低さについて伺えたのでとても良かった。
- ・回収率を上げる具体的な手法が聞けて良かったです。

■設問 5

- ・意気込みを感じました。近付きがたい雰囲気打破するきっかけになると思います。
- ・いつまで続いていくのか、きになるプロジェクトです。
- ・とても良い企画だと思いました。
- ・笑顔の輪がどんどん広がっていくといいですね^^
- ・若い方たちが中心で頑張ってるようで頼もしいと感じました。頑張ってください。
- ・頑張ってください。
- ・東北の図書館員は元気だ！！というアピールになってとても良いと思います。
- ・他大学の方と交流することが少ないので、よいと思う。
- ・図書館員の交流が深まる良いプロジェクトだと思いました。
- ・復旧作業と日常業務で疲労気味なので、明るいパワーをわけてもらえるような気がします。「つながる」感が出ていいんじゃないでしょうか。
- ・ポスター作成は、良い企画だと思いました。ぜひ素敵なポスターを作ってください。
- ・スタッフさんの気遣いがとても細やかで丁寧でした。
- ・可愛いロゴを使ったグッズがいろいろあって素晴らしいと思いました。ポスター制作もとても良いと思います。

- ・ロゴがステキです。
- ・メールで Smiley Library の案内がありましたが、なんとなくしか、わからなかったのですが、A3 版のランチ(マット)を見て、ちゃんとわかったかんじがします。
- ・プロジェクトの企画と、グッズ作成等の意気込みはすごい！と思いました。写真を撮ることについて正直なところ抵抗がありました。(少しですが。)ポスターの構成を先にお知らせしていただけると、そんなにどでかい写真が載るわけではないことがわかって安心できたかも知れません。
- ・企画は面白い。集合写真(スタッフ)は良かったです。だが、本編の「利用者ニーズを引き出せ！」と関連が結局わからなかった。「利用者ニーズを引き出して、笑顔を増やす」などのこじつけでもあれば良かった。

■設問 6

- ・twitter を個人でも図書館としても利用していないので、ためらいがありました。今回のことで逆に、今後図書館で利用を始められないかと考えました。利用例など紹介していただきたいです。
- ・先日初めて wiki に書き込みしたのですが、twitter はまだやったことがありません。話を聞くと、私のようにまだ使ったことがないという人が多かったので、こういう企画を通して広めていただけると、こちらも勉強になります。
- ・研修会の中でも取り上げても良かったのでは。
- ・気軽に交流できるので、良かったと思います。情報の共有ができることで、他大学の方との距離が身近になった感じです。
- ・利用者との交流のためにも、図書館員が新しいコミュニケーションツールに取り組んでいくのはいいことだと思います。
- ・是非頑張って続けて欲しい。
- ・お固いイメージの図書館が、変化する利用者に社会に合わせていくことはとても有意義だと思います。
- ・twitter などあまり使ったことがなかったので使ってみようという気持ちになり、良い機会でした。
- ・twitter 全くわからないが、この機会におぼえようと思った。
- ・時間がなくて、とは言いつつですが、でも時間があるときにやりたいと思う感じのツールだなあと思ったりしました。
- ・あまり書き込めなくてすみません。
- ・文字のみのやりとりだと、とげとげしくなってしまう事もあるが、実際に顔を合わせた相手との事前・事後交流手段としては良いと思います。自分はツイッターをやらないので、wiki の閲覧のみになりそうですが。
- ・有意義な取り組みと思いますが、個人的に活用できておらず申し訳なく思っております。
- ・twitter の発信が未経験で詳しくはないのですが、書き込める文字数に制限があると聴きました。私見ですが、文字数制限なく、使い慣れている E-mail や FAX の方が質問しやすいのではないかと思います。
- ・twitter の利用に今だ抵抗を感じる。自分でも遅れていると思うが。
- ・wiki、twitter どちらも利用していないため、書き込みづらかった。
- ・ハードルが高いと感じました。
- ・twitter は個人的にしか利用していないので、個人的なつぶやきも共有されかねないことが不安。
- ・自己紹介のページで、知り合いの名前を見つけてうれしく感じました。研修に参加するのも、さらに楽しみに思いました。
- ・初心者には敷居が高いので、マニュアルをつけてもらえて助かりました。

■設問 7

- ・ラーニングコモンズなど利用者獲得のために各館が行っている取りくみについて。
- ・「twitter を大いに利用する図書館！」等、学生との交流や図書館同士のコミュニケーションツールとして、どのような使い方ができるか、実行例、成功例、失敗例を知りたいです。
- ・具体的なテーマは内緒だが、図書館員だけで研修するのではなく、学生、教員、一般市民、県職員等と協働でなにか研修してみてもどうだろうか？

- ・すみません思いつきません。
- ・利用者教育の実践例（大学1年生向け）
- ・ICT 研修
- ・プレゼンや講師(講習会)のノウハウ
- ・今回のフォロー。利用者調査の結果をもっと見たい、とか。何年か先に。
- ・学生の聞きたいようなテーマとか、どうでしょうか？（具体的には思い浮かびませんが...）

■設問 8

- ・全体的に、すごく練られたことを感じる研修でした。次回も参加したいです。司会の上村さん、すごく上手ですね！見習いたいです。（おつかれさまでした。）
- ・スタッフのみなさん、おつかれさまでした！
- ・第一期、第二期も、その後それっきりなので、第三期の皆さんは定期的に何かを続けて行って下さい！第一期、第二期は、小官がなんとか今年中にむし返しをしたいと思っています。
- ・スタッフの皆さま大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・スタッフの皆さま、お疲れさまでした。
- ・大変参考になりました。どうもありがとうございました。
- ・会場の温度にすぐ対応していただいて助かりました。チロルチョコのアイディアはすてきでした。ありがとうございました。
- ・企画運営お疲れ様でした！
- ・参加させていただきありがとうございました。スタッフのみなさまありがとうございました。
- ・丁寧な研修の運営に好感をもちました。本日はありがとうございました。
- ・スタッフの皆さんは細かい物まで手作りされていて、意気込みを感じました。本当にご苦労様でした。ポスター楽しみにしています。
- ・ありがとうございました。
- ・参加者同士の交流を深めるための配慮(ランチ・休憩時間活用)がよかった。
- ・ランチミーティングでも他大学図書館の方と交流できる良い機会でした。
- ・アンケート・フォローアップシートの記入時間、名刺交換の時間がもう少し余裕が欲しかったです。ランチミーティングの同席者とは話しができたが、それ以外の方とはあまり話しができなかった。
- ・やや寒かったと思いました。どうもありがとうございました。
- ・会場が少し寒かったです。
- ・研修会と Smiley L プロジェクトが同時進行なのが混乱した。イコールなのか、希望者のみなのかわかりづらかった。